

基本目標

人と自然が調和するまち

1 環境を支えるひとづくり

環境学習・環境保全行動

(91) 環境保全行動の促進

現状と課題

- 環境問題が多様化している中、環境問題を解決するためには、市民一人一人が高い環境意識を持ち、実際に行動に移すことが重要となっています。
- 本市では、これまで環境問題の現状や対策について、周知・情報提供を行ってきましたが、現在では、市民団体においても、出前講座や官民連携による環境イベントなどの開催を通じて、啓発活動が積極的に展開されています。
- 市民・市民団体、事業者、行政それぞれが、環境問題の現状や対策について理解するとともに、各主体が役割分担しながら、環境意識の向上と環境保全行動の促進を図る必要があります。

施策の内容

- 環境施策のマスタープランであり、各主体の環境保全行動の指針となる「第2次八代市環境基本計画」を策定します。
- 出前講座や環境イベントなどの機会を捉えて、環境問題に関する周知啓発を行います。
- 地域の身近な環境やごみ処理について理解を深められるよう、八代市環境センターを拠点として、環境学習の推進を図ります。
- 八代市環境パートナーシップ会議をはじめ、関係機関・団体と連携しながら、環境保全行動の促進を図ります。

関連計画

八代市環境基本計画、一般廃棄物処理基本計画

主な事業

環境学習推進事業、環境パートナーシップ推進事業



エコクッキングの様子（エコライフ体験教室）

2 自然と共生するまちづくり

自然環境

(92) 自然環境・生物多様性の保全

現状と課題

- 本市は、原生的な森林が広がる九州山地から八代海（不知火海）に至るまで、多様な自然に恵まれた地域で、球磨川や氷川に代表される河川は、平野部を潤しながら、海へ注いでいます。また、沿岸部には、広大な干潟が発達し、ハマグリ、アナジャコなどの水産資源をはじめ、ムツゴロウなどの希少な動物が息息するほか、多くの渡り鳥が飛来するなど、貴重な生態系が現存しています。
- 多様で豊かな自然環境を良好な状態で未来へ引き継ぐため、自然環境や生物多様性に対する市民の保全意識の向上を図るとともに、自然環境の状況を把握した上で、必要に応じて保全策を講じる必要があります。

施策の内容

- 自然観察会の開催を通して、自然環境の現状や役割、生物多様性などについての啓発を行います。
- 関係団体と協力しながら、自然環境の状況を把握するとともに、必要に応じて保護区などの指定に向けた検討を行います。
- 希少な野生動植物の息息生育状況を収集・整理し、開発行為などに対する的確な情報提供に努めます。

関連計画

八代市環境基本計画

主な事業

自然環境保全推進事業



水生生物観察会の様子



干潟観察会の様子

生活環境

(93) 環境汚染の抑制・監視

現状と課題

- 水質汚濁や大気汚染、悪臭などの産業型公害に加え、近年ではPM2.5※や新幹線の騒音・振動問題が顕在化しており、日常生活に起因する騒音や悪臭などの問題も増加しています。
- 各種調査や監視・指導を継続するとともに、関係機関と連携しながら適切に対処することにより、環境負荷の低減と良好な生活環境の保全に努める必要があります。

施策の内容

- 工場・事業場などに対する調査を継続するとともに、環境保全協定の新規締結や適宜改正・強化することにより、環境への負荷の低減を図ります。
- 日常生活における生活騒音や臭いなどの環境問題や新幹線の騒音問題などについて、関係機関と連携しながら適切に対応します。

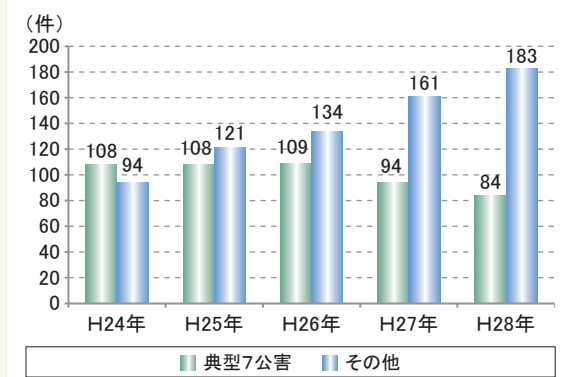
関連計画

八代市環境基本計画

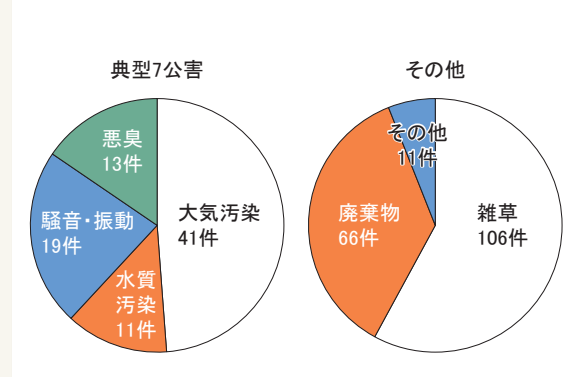
主な事業

環境保全対策事業

公害等苦情件数の推移



公害等苦情の内訳 (H28年度)



※ PM2.5：大気中に浮遊する粒子物質のうち、粒径が2.5μm（マイクロメートル）以下のもの。粒径が非常に小さく、肺の奥まで入り込みやすいため、呼吸器系疾患への影響のほか、循環器系への影響も懸念される。

(94) 地下水の保全

現状と課題

- 本市は、地下水を農業用、工業用、生活用水として利用しているなど、地下水への依存度が大変高い地域ですが、一部地域においては、塩水化や自然由来のヒ素やホウ素などによる地下水汚染が確認されています。
- 限りある資源である地下水を持続的に利用していくため、市民や事業者に対して、節水や合理的な水利用を周知するとともに、引き続き地下水の質と量に関するモニタリングを行う必要があります。

施策の内容

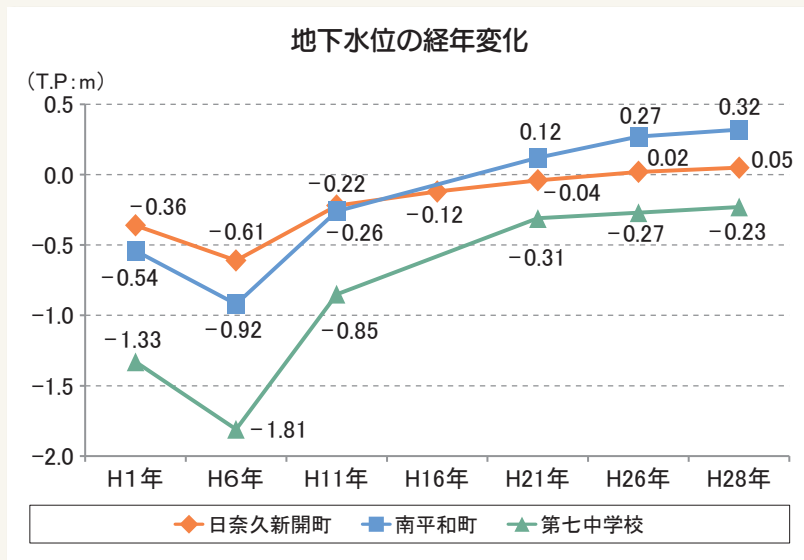
- 地下水の塩水化や地下水位の状況について、引き続きモニタリング調査を実施します。
- 安全で安心な地下水を確保するため、有害物質などの調査を計画的に実施するとともに、地下水汚染が確認された世帯に対する飲用指導を実施します。
- 節水や合理的な水利用、地下水採取に関する周知・啓発を図ります。

関連計画

八代市環境基本計画

主な事業

地下水保全対策事業



(95) 生活排水対策の推進

現状と課題

- 八代海の海域環境の悪化と水産資源の減少は、沿岸域で生活する漁業関係者や市民にとって深刻な問題です。国や県、流域市民と連携しながら、八代海を再生するための対策を講じることが求められていますが、本市における2016（H28）年度末の汚水処理人口普及率は64.9%であり、全国平均（90.4%）、県平均（86.1%）より低い状況です。
- 全国的に見て、低い汚水処理人口普及率をふまえ、今後は合併処理浄化槽設置のさらなる推進を図る必要があります。

施策の内容

- 合併処理浄化槽の設置基数増加に向け、関係機関との連携を図るとともに、補助金制度の周知を徹底するためのPR活動を強化します。

関連計画

八代市環境基本計画、生活排水処理基本計画

主な事業

小型合併処理浄化槽設置整備事業

(96) 衛生環境の充実

現状と課題

- 管理されていない空き地などでは、雑草の繁茂や害虫の発生により、良好な生活環境が損なわれている事例が見受けられます。市と地域（市民・住民自治）との役割分担のもと、地域環境の保全に取り組む必要があります。
- 環境美化の推進については、地域における市民相互の連携を深め、市民自ら、地域の環境美化への取組みを進める必要があります。
- 県から、墓地などの経営許可に関する業務が権限委譲されたことから、本市の条例に基づき、適正に業務を行う必要があります。一方、みなし墓地※は個人所有となっていることから、今後の管理運営が課題です。
- 狂犬病予防対策として、犬の登録及び狂犬病予防接種について飼い主に啓発を図るとともに、予防接種の接種率向上を目指す取組みを行う必要があります。
- 八代市斎場は、1980（S55）年の供用開始後、老朽化が進んでいるため、「八代市斎場延命化構想」に基づき定期的・計画的な改修を行い、火葬炉などの緊急停止が発生しないよう適正な管理運営に努めるとともに、新たな施設の検討を行う必要があります。

施策の内容

- 雑草の繁茂や衛生害虫の発生を防止するため、空き地などの適正管理を市民に周知するとともに、国・県・市・司法機関が連携するほか、住民自治による指導体制を検討します。
- みなし墓地については、全国的な問題であることから、他市との研修会を通じて課題への対応を協議・検討します。
- 狂犬病予防接種の接種率向上のため、予防接種未接種犬の飼い主に対して、催告を行うとともに、高齢犬については、状況確認などを実施します。
- 新斎場施設の整備を検討します。

関連計画

八代市環境基本計画、八代市斎場設備状況調査及び施設整備構想

主な事業

衛生害虫駆除事業、環境美化推進事業、墓地関係事業、狂犬病予防対策事業、斎場管理運営事業、斎場施設整備事業



清掃活動の様子

※みなし墓地：「墓地、埋葬等に関する法律」の施行前に経営許可を受けていた墓地。

3 環境への負荷が少ない持続可能なまちづくり

地球環境

(97) 地球温暖化対策の推進

現状と課題

- 地球温暖化は、次世代への影響の深刻さや大きさから見て、最も対策が急務とされる環境問題の一つです。
- 個々の省エネ行動や再生可能エネルギー設備の導入については、以前に比べ定着・浸透している状況ですが、低炭素社会の実現に向けて、引き続き日常生活や経済活動に伴う温室効果ガス排出量を削減することが重要です。
- 温室効果ガスの排出量が依然として大きいとされる、民生（家庭・事業所）部門の温室効果ガス排出量の削減を図るため、市民をはじめ、事業者の省エネ行動を喚起・促進するとともに、太陽光などの再生可能エネルギーの普及・利用促進を図る必要があります。

施策の内容

- 住宅用太陽光発電システムと蓄電池設置に対する支援をはじめ、省エネ機器などに関する情報提供を行うなど、市民・事業者の地球温暖化対策の促進を図ります。
- 地球温暖化防止対策実行計画に基づき、本市も省エネ・省資源対策を進めるとともに、市有施設への再生可能エネルギーの導入を図ります。

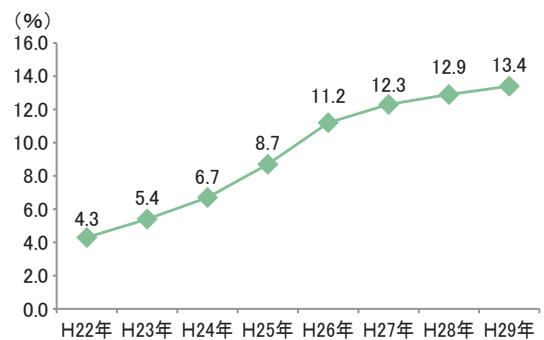
関連計画

八代市環境基本計画

主な事業

地球温暖化対策推進事業

住宅用太陽光発電システムの普及率の推移



(98) 再生可能エネルギーの普及

現状と課題

- 本市においては、太陽光発電をはじめ、木質バイオマスなどの再生可能エネルギーが、順調に普及している状況です。
- 再生可能エネルギーを取り巻く環境は、年々変化していることから、これらの状況や国などの動向などを把握するとともに、適切に情報提供・助言を行う必要があります。

施策の内容

- 再生可能エネルギーの普及促進に関する情報提供や普及啓発に努めます。

関連計画

八代市環境基本計画

主な事業

地球温暖化対策推進事業



木質バイオマスボイラー建屋
(東陽交流センターせせらぎ)



木質バイオマスボイラー
(坂本温泉センタークレオン)



木質バイオマスボイラー
(東陽交流センターせせらぎ)



木質バイオマスボイラー建屋
(坂本温泉センタークレオン)

循環型社会

(99) ごみの減量化及び資源化の推進

現状と課題

- ごみの減量に関する環境学習やチラシ配布などの啓発活動もあり、ごみの減量化や資源化の取り組みは一定の成果をあげています。
- 八代市清掃センターと八代生活環境事務組合クリーンセンターに分かれていたごみ処理エリアが、八代市環境センターの供用開始に伴い一つになることから、一部異なっていたごみ出しのルールを統一するとともに、ごみの減量化や資源化に関する広報や啓発内容を見直す必要があります。

施策の内容

- 八代市環境センターの運用に合わせた啓発活動内容の見直しを行います。
- 八代市環境センターでは、ごみ処理施設内部を見学しながら学習できるように整備しており、来場者（主に小学生、中学生）のごみに関する意識向上を図っていきます。

関連計画

八代市環境基本計画、一般廃棄物処理基本計画、循環型社会形成推進地域計画

主な事業

ごみ処理施設管理運営事業



(100) 廃棄物処理施設などの整備

現状と課題

- 八代市環境センターが供用開始し、市内の一般廃棄物の処理を開始します。今後は安定的な処理を継続して行うことが重要です。
- 八代市環境センター供用開始後、八代市清掃センターの閉鎖や解体について検討する必要があります。
- し尿処理については、下水道の普及や合併処理浄化槽の増加により処理量は減少しています。一方で、し尿を処理する八代市衛生処理センターは、供用開始後、施設の老朽化が著しいため、施設の延命化を進めるとともに、新施設整備について検討を行う必要があります。

施策の内容

- 八代市環境センターは、適切な点検・補修・メンテナンスを行い、機器の健全度を維持し、長期間の使用が可能となるよう努めます。
- 八代市清掃センターは、閉鎖後、管理を行いながら解体時期や解体方法について検討します。
- し尿処理施設については、し尿処理施設基本構想をふまえ、新施設の整備について検討します。

関連計画

八代市環境基本計画、八代市し尿処理施設基本構想、一般廃棄物処理基本計画、循環型社会形成推進地域計

主な事業

し尿処理施設管理運営事業、し尿処理施設整備事業、浄化槽汚泥処理施設管理運営事業、し尿及び汚泥処理施設等整備事業、ごみ処理施設管理運営事



八代市環境センター（完成予想図）

(101) 廃棄物の適正処理の推進

現状と課題

- 八代市環境センターが供用開始し、市内の一般廃棄物全量を八代市環境センターで処理することになるため、分別基準の統一化と市民への周知が必要です。
- 廃棄物の不法投棄・不適正処理は悪質化・常習化しており、不法投棄の監視や啓発活動を強化する必要があります。

施策の内容

- 統一化した分別基準とさらなる資源分別の周知を図り、これまで以上の分別精度を目指します。
- 不法投棄の監視業務やルートを改善します。

関連計画

八代市環境基本計画、一般廃棄物処理基本計画、循環型社会形成推進地域計画

